工業っ子

No.191
―発行日―
2019.10.31
―編集―
長崎工業高校新聞部
―発行―
長崎工業高校新聞部

建築科２連覇！ 最高に輝く 工業化学科 大躍進

令和元年 体育祭

十月五日に行われた体育祭。例年に比べて練習時間が短い中、一人一人が開催に向けて頑張っていました。今年は工業化学科がパレード、応援幕で最優秀賞を取り、大躍進を果たしました。

みんなの協力あっての体育祭

～実行委員長が語る～

体育祭実行員長
Ｅ３佐土原侑大さん

◆体育祭を終えての感想は。

―実行委員として頼りないところもあったけれど、みんなの協力のおかげで成功できたと思う。

◆反省点はありましたか。

―今年度は女子生徒に与えられるハンデについて大幅に変えた点があったせいか、競技によっては結果にかなり差が出てしまった。ハンデの内容をどうするかを来年の課題として扱ってほしい。

◆来年の実行委員へアドバイスやメッセージをお願いします。

―男女のハンデや競技出場者の変更について、早めの対応をするよう心がけてほしい。

▼勝利の喜び

▲実行委員長挨拶をする佐土原さん（Ｅ３）

今年の体育祭は去年の経験を踏まえて女子のハンデの修正を行い、より良い体育祭にしようと一生懸命頑張っていました。佐土原実行委員長、そして実行委員の皆さん本当にお疲れ様でした。

▲本番が最高の出来

〈体育祭を終えて〉 思いは次へ 反省と課題 各科インタビュー

体育祭終了後、各科にインタビューを行いました。

質問内容
★団長
①感想
②自己評価すると何点か
③反省
④後輩に一言
●科長の先生
①感想
②科の生徒に一言
③来年に向けて

総合優勝 繋がり深まる 建築科

★中村颯馬さん

①とりあえずは二連覇できてよかった。体育祭を通して一年生から三年生の繋がりが深められたと思う。

②３７１点（みんないい）

③練習でメリハリをつけられなかったこと。

④前人未到の三連覇目指して頑張ってください。

●山崎努先生

①短い練習で集中して頑張っていた。全ての競技に全力を尽くすことをみんなで誓い合った。さらに、それを見事大会で発揮した。それは生徒の自信に繋がったと思う。関わってくれた多くの先生に感謝しています。

②よく頑張りました。お疲れ様。

③結果よりも全力で取り組むことを建築のよき伝統にして下さい。一、二三年生全体でまた実現してください。

総合二位 大躍進 工業化学科

★辻田桂希さん

①最高に嬉しい。

②百二十点。

③パレードの終盤で音が止まったことが心残り。機材に恵まれなかった。

④これからＣ科の時代を作ってほしい。

●里慎也先生

①今年は３年生がしっかり一・二年生を引っ張っていた。

②よくがんばったと思う。やる気になれば、自分たちも出来ると自信を持ってほしい。

③引き継ぐ一、二年生は大変だが、まず自分たちで取り組む環境を作ってほしいと思います。

総合三位 無念 機械科

★出口恵翔さん

①全部取れなかったけど、三位に入れて良かった。でも、優勝できなくて悔しい。

②三十点

③引き継ぐ一、二年生は大変だが、まず自分たちで取り組む環境を作ってほしいと思います。

●前川明先生

①王座奪還できず残念だった。

②機械科が一丸となって頑張っていて良かった。

③来年こそ王座奪還を頑張ってください。

理由　練習でグダグダして、とるべきところで取れなかったから。

③もっと自分が科をまとめ上げることができなかった。

④来年こそ王座奪還。

★体育祭結果まとめ

総合…①建築 ②工業化学 ③機械

行進…①建築 ②工業化学 ③機械システム

パレード…①工業化学 ②インテリア ③建築

応援幕…①工業化学 ②インテリア ③建築

《団体競技の優勝科》

（長工ペーロン）建築
（騎馬戦）電気
（長工ジャンプ）電子工学（玉入れ）建築（ネコワンリレー）工業化学
（学年別対抗リレー）
一年生…機械
二年生…建築
三年生…工業化学
（長工覇王伝説）機械システム（Ｍｓドーナツ）電気・インテリア
（綱引き）情報技術
（学科別対抗リレー）機械

▶ハキハキと選手宣誓

◀気合を入れて

▶迫力満点（Ｃ科）

◀鮮やかな応援幕（Ｃ科）

青春日記♪

九月に自分の就職試験が終わったかと思いきや、気付いたら十月も下旬へ。……早い。時の流れが二倍速で進んでいるのではないかと何度疑ったことでしょう。最近は進学を志す友人の面接練習に付き合うことが多いため、面接官になりきる日々。

「その質問にはこう答えた方が印象良いんじゃないかな」と、新聞部で培った語彙力をフルに使ったアドバイスが好評です。こんな場面でも新聞部員であることの恩恵を受けるとは。新聞部、ばんざーい。

さて、最近まで夏服を着ていたつもりだったのに、もう冬服への移行期間へ。三年生の私は、もうあのリボンのついた夏服で登校することはないのです。リボンの形をクラスの女子皆で必死で作ったリボンさよなら、ネクタイ久しぶり。そういえば、長工の制服について「夏服の方が可愛いから好き」といった女子生徒の声を聞くことが多い気がします。でも私は、「冬服も好きです派」。その最大の魅力はポケット。そして女子の冬服の上着のポケットはなんといつも持ち歩くメモ帳にジャストサイズ。「今から○○教室で○○があるみたいよ」という不意打ちの情報でも、即座にいつでも取材の仕事に対応できるようにとメモ帳を持ち歩く習慣が完全に身についてしまった私。とてもマイナーな意見ですが冬服は新聞部部員に優しいデザインだと思っています。

しかし、もはや冬服どころか長工のこの制服を着る期間を限られてきました。なんと三年生は卒業まであと約四か月。あと少し、悔いのないよう過ごします。（中野）

アレンジの力

この食べ物美味しい、一体どこの食べ物だろう。そう思ったことが私の人生の中でたくさんあります。一番最近そう思った食べ物はエッグタルトという食べ物です。タルトの器の中にカスタードとエッグを中に入れ焼いた料理で、とても濃厚な味で食べ終わった後も口の中に味が残り、また食べてみたいと思えるような素敵な味でした。

現在、世界中の食べ物がこの日本にいても食べることができます。私が食べたエッグタルトも、はじめはフルーツタルトが中国に伝わり、それを基にアレンジされてできたものだとか。その後エッグタルトは今では香港で根強く人気が出ています。

アレンジされた食べ物といえばラーメンなどもあげることができるかもしれません。食べ物だけでなく、古くは中国から伝わってきた漢字をアレンジして「ひらがな」や「カタカナ」ができています。ゲートボール、ソフトテニス、個人レベルで考えれば、既製の服を自分なりにアレンジしておしゃれに着こなしている人もいるでしょう。最近のバスで乗り降りしやすいようにとき歩道側の車体が沈むようになっているものがあります。これもバスを使いやすくするアレンジの一つだといえます。アレンジは今の生活を更に良くしようとする行動だと思います。

アレンジに必要なのは発想力。こんなものが生活の中に取り入れられれば、こうしたらどうなるかという想像力が発想力に、そして創造力に繋がります。工業高校でものづくり学んでいる私たちも学び続ける中で発想力を養い、生活を楽しく、良くしていく便利なものを生み出せていけたら。自分たちが生活を豊かにすることができるという自覚が芽生えるのではないでしょうか。（林田）

来年は優勝を
機械システム科

★佐々野廉さん
①悔いが残ったが楽しくできたので良かった。
②三十四点。（行進３位以外は良くなかった）
③競技練習に時間をとることが出来なかった。
④Ｐ科は誰もが羨ましがる学科を目指してほしい。

●上野哲夫先生
①協力出来て総合四位は良かった。もう少し準備に工夫があればよかった。
②体育祭でやった事を社会に役立ててほしい。
③来年は事前に準備をやって、優勝。

▲息をそろえて（Ｐ科）

◀和風な衣装と踊りで魅せる（Ｉ科）

次は今年以上の結果を
電気科

★廣津雄太郎さん
①一、二、三年を引っ張れて、練習もついてきてくれて良かった。
②百点。（過去に駄目だと言われた自分たちが三年生として後輩を引っ張れた）
③練習量が足りなかった。特に団体競技。
④来年は、残したものを受け継いで総合優勝を。

●西敏春先生
①とりあえずは一位の種目があったのでよかった。
②一、二年生への指導をよくやってくれた。
③来年は今年以上の戦績を残せるように頑張ってほしい。

▼独特な世界観（Ｅ科）

一致団結できた
インテリア科

★中村和泉さん
①最優秀賞は取れなかったが、科が一致団結できて良かった。
②千点。（夏休みから練習を頑張った。楽しく活動できた）
③もっと少し後輩達を盛り上げたかった。
④一位を取ることが叶わなかったので、来年は取ってほしい。

▲団結力の高さを発揮（長エジャンプ）

▶力とバランスが決め手（長工覇王伝説）

来年はさらにUP
電子工学科

★北村元さん
①もっといい順位が取れると思った。
②八十点。（結果は良くなかったけど全員楽しんでいた）
③もっと早く準備すればよかった。
④来年こそは優勝してくれ！

●林田惣一郎先生
①皆さん頑張っていた。
②今年の経験を元にＰＯＷＥＲ ＵＰしてほしい。
③今年以上に頑張ってほしい。

●北川友也先生
①ちゃんと全学年まとまっていてよかった。
②今回の「リミッターをきる」という目標を達成できなかった子は来年達成できるように頑張ってほしい。
③今回Ｃ科にパレードと応援幕で一位を明け渡したのが悔しい。来年こそは、一位を取ってほしい。

次こそは
情報技術科

★河野俊亮さん
①皆楽しそうだったので良かった。
②六十点。（下級生を完全にまとめきれなかった）
③下級生を上手くまとめられなかった。
④早めに準備をして、協力することが大切。

●山口秀昭先生
①チームワークは取れていたが、何かが足りない。
②次こそはやるぞ。
③頑張りましょう。

▼各科で振り返り、次への目標が見つかったようです。今の二年生は来年も盛り上がった体育祭になるよう、下級生を引っ張ってください。

まさかの決勝進出
綱引き決勝 Ｉ VS Ｊ

今年の綱引き決勝で優勝を争った情報技術科とインテリア科。男子が多い長工のなかで唯一、女子の数が男子を上回るインテリア科と、最近決勝に残ることがあまりなかった情報技術科という異例の組み合わせとなりました。優勝を争った両チームの代表者へのインタビューです。

Ｊ３河野俊亮さん
―三年間体育祭をやってきてまさか優勝するとは思わなかった。来年は綱引きだけでなく他の競技でも優勝を目指してほしい。

Ｉ３水口琴英さん
―綱引きの練習のときに先生から教わった姿勢をきちんと保つことを重要視した。あとは科の団結力でカバーした。最後まで白熱した試合を繰り広げたインテリア科と情報技術科。来年もこの二チームの優勝争いとなるのか、一年後の体育祭がとても楽しみです。

▲勝利を手繰り寄せる

新鮮な驚きがいっぱい！
子ども化学実験教室

八月二十六、二十七日の二日間に本校で開催された子ども化学実験教室。小学生八十三名、中学生十七名の計百名が参加。応募者が多く人気となっています。小中学生の実験のサポートにあたったのは工業化学科と科学部。小学生は葉脈しおり、家にある身近なもので作るスライム、液体窒素での雲やアイスクリーム作りに、中学生は化学反応を利用した卓上鏡製作と自分でアナログ写真撮影した現像に挑戦。

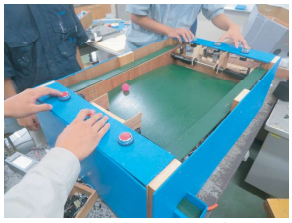
教える側も
▼教わる側も真剣

一番人気だったのは液体窒素で作るアイスクリーム。自分たちで作ったアイスをとてもおいしそうに食べていました。室内では、多くの驚きや笑い声があがっていました。

教室終了後、小学生からは「最後の雲がすごかった」「葉脈をポンポンするのが楽しかった」「夏休みで一番楽しかった」と、保護者の方からは「大人でも勉強になる内容だった」「生徒さんが嫌な顔一つせず子供達に対応してくれてとても良い気分で参加できた」などの感想が聞けました。また、担当した工業化学科の生徒は「興味をもってくれたら嬉しい」「退屈させないように頑張った」と話してくれました。

▲液体窒素でできた雲に驚き

シリーズ ロボコン道
やるべきこと


▲実際に動かして確認

活動を重ねるなかで、さまざまな問題が見えてきました。

たとえば、文化祭に出すゲームの開発に遅れが生じています。そのため、作るのに専念していくよう方針を少し変更することがまず一つ。

また、ロボコンに出す機体調整に時間がかかりそうです。先日ミニロボットを操作したものの、ショートしてしまいました。今後、修復が必要になります。

これらの課題を、少しずつ解決していこうと思います。

（Ｄ２川瀬）

一年生な☆日々

朝晩に冷え込むようになって「あれ。今、冬だなって」と思うことが多くなりました。季節の変わり目の温度差に負けて、うっかり風邪でダウン。ついに「早退」を経験してしまいました。

こんなに具合が悪くなったのは去年の冬以来です。あの時は受験のプレッシャーやらストレスやらで精神的に追い詰められていて風邪に勝てなかったのですが、今回はどうして負けてしまったのか分かりません。喉と鼻が全くかすれ使い物になりなりました。結構、きついものがありました。

気を抜くと体調管理が疎かになっていて今回のように風邪に苦しめられるので、家にあるヨーグルトとヨーグルト味の黒酢で今年の冬を乗り越えようと思います。

皆さんも体調管理にはくれぐれも気を付けてください。

さて、最近の私の楽しみはまもなくやってくる誕生日。いつもは何か欲しい物を買ってもらう、あるいは美味しいものを食べに行くの二択で、どちらにしても私としては嬉しい…ということで楽しみなのですが、今回は若干心配の種があります。それはテストの結果が思わしくないこと。これが心配だけで終わることを願っています。

（森永）

テスト返却編 てふ工生！！！ パート④
～行事後の…～

※素直に喜べない……

編集後記

今年の体育祭の予行練習では雨に降られ、おまけに雷までの悪天候の末、無事開催されました。「令和初」という相乗効果もあり、多くの生徒にとっても記憶に残る体育祭となったのではないでしょうか。次回は文化祭事前号です。